

「新聞と教育」

テーマに議論

京都文教大



学校の授業で
新聞を活用する
NIE（教育に
新聞を）に関す
る研究成果を話

し合う日本NIE学会が25
日、京都府宇治市の京都文
教大で始まった。「地域連携
とNIEの可能性」をテー
マに、26日まで研究者や教
育関係者が意見を交わす。

この日はシンポジウムが
あり、地元紙をはじめとす

る新聞と教育現場の協力体
制や、学校教育の中で新聞
が果たすべき役割などにつ
いて議論。元神戸新聞記者
で、府内の公立中教諭、宮
沢之祐ゆづさんは「子供にとつ
て、教科書は遠くの出来事
に感じてしまう」と指摘。
より生徒に身近な地元市議
会で予算案が可決される過
程を、新聞を使って教えた
例を紹介した。

日本新聞博物館（横浜
市）館長の尾高泉さんは
「今のデジタル社会にあふ
れる情報は、自分の耳に心
地よいものばかり。異なる
意見に耳を傾けて理解しよ
うとするときに、深い学び
が生まれる」と、教育現場
で新聞を活用する意義を語
った。